

解答・解説

英検準 1 級過去問 空所補充問題②

- 2010 年第 3 回～2012 年第 2 回
- 長文空所補充問題 12 題

【2010 年第3回】

【全文訳】 ヨーロッパで最初の農民たち

最初ホモ・サピエンスはおおよそ4万5,000年前にヨーロッパに到達し、狩猟や採集によって生存していたというのが、一般的に一致した見方である。しかし、ヨーロッパで最初の農民の起源に関しては、論争的の状態が続いている。彼らは、ヨーロッパの外から徐々に広まってきた考え方に影響を受けた後で農業を始めた狩猟採集民だったと、最近まで広く考えられていた。にもかかわらず、少数の専門家たちはこの考えを受け入れることができなかった。彼らは、もっと後になっての移民流入の波によって、ヨーロッパに農業がもたらされたのではないかと考えた。

ドイツのヨハネス・グーテンベルク大学マインツ校の研究者たちのチームは、この問題を解決したと信じている。研究者たちは、ヨーロッパ中の考古学的遺跡で発見された農民と狩猟採集民双方の遺骨から取り出したDNA標本を分析し、比較した。その結果、2つのグループは無関係であるという結論に達した。この研究チームの研究結果は、おおよそ7,500年前に農民たちがヨーロッパに移民してきたことを強く示唆している。研究チームの一員であるヨアヒム・ブルガー教授は、両者の間の何らかの接触を示す考古学上の証拠はあるものの、「私たちは、狩猟採集民の社会と農民の社会が並立していたと考えなければならない。両者は異なる人々だったのだ」と指摘している。

農業がヨーロッパに与えた影響は、過小評価されるべきではない。農業は、洪水や干ばつに備えて蓄えておくことのできる、大量の食糧の備蓄を生み出すことを可能にしたからである。こうした新しい食糧の安全保障こそ、近代文明の発達における主要な要素だったのであり、実際にそういう結果になったように、人口の一部が貿易や商業といった非農業活動に従事できる、より安定した社会をもたらしたのである。

【語句】 hunter-gatherer「狩猟採集民」、resolve「解決する」、archaeological「考古学上の」、migrate「移民する」、drought「干ばつ」

(26) - 解答 2

【解説】 空所の前後で、ヨーロッパの農業の起源に関する2つの相異なる立場が紹介されていることに注目。空所の前では一般に受け入れられている主流の立場を紹介し、空所の後では少数の専門家の見方は異なっていたと展開していることから、少数派にはその主流の立場が「受け入れ難かった」(found this hard to accept)と考えるのが自然であろう。

(27) - 解答 3

【解説】 空所には2つのDNAを比較した結果が入るわけだが、空所以降を読むと「後になって移民してきた可能性」や「並立する社会」などの記述があり、2つの異なる人々の存在が推測される内容となっている。従って、両者には「関係性がなかった」(were unrelated)と判断できる。

(28) - 解答 ①

解説 空所以降の内容から、農業が近代文明発展の上で重要な転換点になったことが分かる。そうした意味からも、空所には「大変重大なものだった」という主旨の表現が入ると想像がつく。つまり「過小評価されるべきではない」(should not be underestimated)ということである。

全文訳 シックハウス

世界保健機関の研究調査によって、新築もしくは改築された建物のうち、最高 30% までもがシックハウス症候群 (SBS) を引き起こし得ることが明らかになった。この症候群は、密閉された空間内の標準以下の空気品質が原因とされているが、診断は難しい。これは、その症候群が、1 つの病気だけでなく、目や鼻や皮膚のさまざまな障害、胸と肺の感染症、しばしば風邪に似たほかの症状を引き起こすからである。SBS が原因だと明確になるのは、患者が「病んだ」建物から離れたときだけ、ということも多い。

SBS は医療施設で重大な問題を引き起こす。SBS が原因である感染症の中には、免疫系が衰弱した患者を深刻な危険にさらしてしまうものもある。こうした感染症の件数は、医療施設の設計や換気設備を改善することによって減らすことが可能である。床材や塗料などの物質に由来するかびや一酸化炭素、有毒ガスなど、こうした全てのものが SBS を引き起こす劣悪な空気環境の一因となっているのだ。多くの病院では、例えば、天然素材で作られた床材を取り付けたり、毒性のない清掃用品を使用したりして、この問題に対処しようとしている。

中央テキサス・デル小児医療センターは、空気品質を念頭に置いて設計された。同センターは、建物の「肺」として機能する草木にあふれた 6 つの開放的な中庭を有しており、先進的な空気取り入れシステムによって、保護された中庭から建物の中へと空気もたらされている。その中庭では、タバコや、ガソリンで駆動する芝刈り機のような汚染物質の源となるものの使用は禁止されている。ほかの医療施設もこの事例に倣っており、自分たちも SBS のない環境を作り出したいと願っている。

語句 Sick Building Syndrome 「シックハウス症候群」、substandard 「標準以下の」、infection 「伝染病」、immune 「免疫の」、ventilation 「換気」、carbon monoxide 「一酸化炭素」、toxic fume 「有毒ガス」、vegetation 「草木」、pollutant 「汚染物質」

(29) - 解答 ③

解説 空所の直後にある This is because ... の表現に注目すれば、ここに空所の理由が説明されていることは明らか。明確に SBS と診断される場合は極めて限られているという記述内容から判断して、SBS であるという「診断が難しい」(difficult to diagnose) 現状が読み取れる。

(30) - 解答 ②

解説 この段落では、SBS を防ぐために、医療施設が取り組んでいる試みが紹介されている。つまり、こうした医療施設こそ、SBS に対して繊細

に対応することが求められており、SBS が「重大な問題を引き起こす」(poses significant problems) 存在であることが分かる。

(31) - 解答 4

解説

空所の後の内容から、このセンターは SBS のない環境を目指しており、「ほかの施設がこれに倣う」ほど優れた造りになっていることが分かる。その設計の中心にあるのが「安全な空気」なのだから、「空気品質を念頭に置いた」(with air quality in mind) 設計が正解。

【2011 年第 1 回】

全文訳 サンダンス映画祭

ユタ州パークシティで毎年開かれるサンダンス映画祭は、精選された質の高い独立系映画を上映することによって前途有望な米国の映画製作者に対する注目を引き付ける目的で、1978 年に始められた。この映画祭は、開催地が小さな町であるにもかかわらず大きな成長を遂げてきた。しかし、ある人々にとっては、今では映画はそれを取り巻くイベントほど重要ではないかのように思われる。ジャーナリストのニール・スミスが指摘するように、社交界の有名人パリス・ヒルトンの来訪が、「ほとんどのコンペティション参加作品を合わせたよりも多くのメディアの関心を集めた」のである。

さらに、映画祭自体が、上映される映画の質を考えると、もはや正当化できないと感じている批評家もいる。デジタルビデオの発達の結果、応募作品数は 1993 年から 10 倍に増えている。というのは、新人の映画製作者が低予算の映画を撮影、編集することが今ではより容易になったからである。映画祭の前ディレクターであるジェフリー・ギ

ルモアは、デジタルの映画製作の人気の低い応募作品の増加をもたらしたことを認めている。しかしながら彼は、実際に映画祭で上映されるよう選ばれた映画の質が影響を受けることはなかったと強く主張している。

映画祭はまた、作品を自らのケーブルテレビチャンネルで放映したり、オンラインで視聴可能にしたりすることで、独立系映画製作者を支援している。皮肉にも、これらの動きは、実際の映画祭は不要になったという主張を引き起こすことになった。こういったことにもかかわらず、ギルモアは、インターネットが映画祭になにがしかの影響を与えとしても、「サイバー空間が（映画祭に）取って代わることはない」と主張している。多くの独立系映画製作者は、まだインターネット上で彼らの映画を簡単に視聴可能にするのはむしろ避けたいと思っており、その代わり、映画会社の重役が映画祭の上映で彼らの作品を見つけてくれることを望んでいる。

語句 up-and-coming 「将来性のある」、socialite 「(社交界の) 名士」、entry 「出品物」、given 「～を考慮すれば」、tenfold 「10 倍の」、submission 「提出 (された作品)」、cyberspace 「(インターネット上の) サイバースペース」、screening 「(映画の) 上映」

(26) - 解答

2

解説

空所を含む文の直後の文で、有名人の映画祭への訪問が参加作品よりもメディアの関心を集めた、と言っていることから、映画がその周囲のイベント「よりも重要ではない」(less important than) と思えることになる。

(27) - 解答

4

解説

空所を含む文の直前の文で、ギルモアはデジタル技術による映画製作によって参加作品の質が低下したことを認めているが、続くこの文は however 「しかしながら」と逆接関係にある。従って、実際に上映される作品の質は低下していない、つまり「影響されていない」(has not been affected) と主張していることになる。

(28) - 解答

1

解説

空所の直前の文では、ケーブルテレビとオンラインで映画を視聴可能にしたことで実際の映画祭が不要との主張を引き起こしたと述べ、空所以下の文では、「サイバー空間が（映画祭に）取って代わることはない」と主張している。従って、ここには直前の文に対する逆接の表現「これにもかかわらず」(Despite this) が入る。

全文訳 地球工学

気候を制御する人工的な試みを記述する「地球工学」の概念は、19世紀から存在している。最近、それはより大きな注目を集めるようになった。各国政府が地球温暖化の脅威に対処する最良の方法について何年もの間議論してきたが、今では、地球工学を可能性のある解決策と考える国の数が増えている。

地球工学者たちは地球を冷やすためのさまざまなアイデアを提案している。1つは大気の上層中に二酸化硫黄を意図的に導入することである。これは基本的に自然現象を模倣するものだ。ピナツボ山が1991年にフィリピンで噴火したとき、それは大気中に何百万トンもの二酸化硫黄を送り込んだ。このことで日光を遮る硫酸の雲が生じ、それによって1年間、地球上の気温はおおよそ華氏1度下がった。

多くの科学者は二酸化硫黄を用いる方法に反対している。コンピューターによるモデル化では、「硫黄日よけ」は気温を下げる一方で、おそらくほかの気象条件にも影響を与えるであろうことが明らかになっている。水の蒸発が熱帯地域においておそらく減少し、降雨量の減少につながるだろう。インドのガンジス川の水位がピナツボ山の噴火の後に急激に下がった事実は、この予測を裏付けている。

このことは、二酸化硫黄を用いる方法に伴う別の問題を引き起こす。例えば、連続する熱波に見舞われている国は、自国民の利益になるように、その方法を使うことを強く主張するかもしれない。もしこれが、別の国が厳しい気象条件に見舞われることにつながったとしたら、結果として生じる政治的緊張は紛争へとつながるかもしれない。従って、地球工学の潜在的利点にもかかわらず、国々は慎重にその引き起こし得る結果を考

慮すべきである。

【語句】 geoengineering「地球工学」、deliberate「故意の」、sulfur dioxide「二酸化硫黄」、sulfuric acid「硫酸」、Fahrenheit「華氏」、computer modeling「コンピューターによるモデル化」、evaporation「蒸発」、eruption「噴火」

(29) - 解答 2

【解説】 空所直前の主語の it は「地球工学」を指すが、直後の文の後半、「地球工学を可能性のある解決策と考える国の数が増えている」から考えて、「より大きな注目を集めるようになった」(attracted greater attention) ことになる。4 のような状況には至っていない。

(30) - 解答 1

【解説】 空所直前の主語の This は、地球冷却を目的とした大気上層への二酸化硫黄の意図的導入を指すが、この段落の後半でピナツボ山の噴火により同様の現象が起こったことが説明されているので、それは自然現象を「基本的に模倣する」(basically imitate) ものである。

(31) - 解答 1

【解説】 空所直前の This は、前段落の、ピナツボ山噴火による降雨量減少が招いたガンジス川の水位低下のように「ほかの気象条件にも影響を与える」ことを指す。続く2文でそういった事態が国際紛争につながる可能性が指摘されていることから、それが二酸化硫黄を使う方法「に伴う別の問題を引き起こす」(raises another problem with) ことになる。

【2011 年第 2 回】

全文訳 化石ハンター

最近、米国の古生物学者（化石を研究する科学者）は、増えつつある（化石の）個人取り引きについて懸念を示している。米国の法律の下では、公共の土地にある化石は連邦政府の財産であると見なされる。残念ながら、この法律があっても希少な標本が裕福なコレクターの手に渡るのを防げずにいる。古生物学者は、アマチュアの化石ハンターが化石を不法に国立公園から持ち去って、それらを売りさばいていると主張している。この化石の盗掘について最も古生物学者を心配させていることは、大昔についての情報が科学的に記録される前に失われてしまうかもしれないということである。

化石採掘に関する英国の法律はより緩やかなものである。自主的な行動規範では重要な発見は当局に報告されなくてはならないとされているが、そうされない場合は公共の土地にある化石は採掘されて自由に売ることができる。プリマス大学の古生物学者、ケビン・ページは、この状況に異議を唱えている。彼は、自分たちの発見物を売ろうと試みる化石ハンターを阻止することを望んでいる。彼の信念は、化石は公共財産と見なさ

れるべきであって、市場で売り買いされるべきではないということである。

たいていの化石ハンターは、自分たちに対する非難に憤慨している。化石の取り引きが存在することを認める一方で、彼らは自分たちは金もうけよりもむしろ化石への愛が行動の動機付けとなっているのだと言う。実際、多くの化石ハンターが自分たちの発見物を博物館に貸与、あるいは、寄贈している。さらに彼らは、化石がもし採掘されなければ、しばしば風雨のような自然の力にさらされ、破壊されてしまうと指摘する。従って化石ハンターは、実際には自分たちは化石が永久に失われてしまうのを防いでいることになるのだと主張する。

【語句】 fossil「化石」、paleontologist「古生物学者」、specimen「標本」、end up in「最後には～に行き着く」、code of conduct「行動規範」、resent「憤慨する」、accusation「非難」、loan「貸す」

(26) - 解答 ④

【解説】 アマチュアによる化石取り引きに対して古生物学者がどのような立場を取ってきたかが選択肢となっているが、続く部分で化石を保護する法律があっても実効性が薄いこと、さらにこの段落の最後の文で科学的調査がなされないまま化石が失われることを心配していると述べていることから、それに「懸念を表明してきた」(expressing concern over) とするのが正しい。

(27) - 解答 ①

【解説】 第1段落で言及されていた米国の法律が公共の土地の化石を明確に国家財産と規定していたのに比べ、英国の化石採掘に関する法律では当局への報告義務はあくまで「自主的な行動規範」であり、公共の土地での化石の採掘と売却を制限するものではないのであるから、「より寛大な」(more liberal) ものということになる。

(28) - 解答 ④

【解説】 この段落では化石ハンターが自分たちに対する非難にどう反論しているかが述べられているが、空所の前の部分の「発見された化石を博物館に貸与・寄贈している」という内容も、空所の後の「自分たちの化石採掘が結果的には化石を守っている」という内容も、どちらも自分たちの行為を正当化するものなので、moreover「さらに」がふさわしい。

全文訳 在来植物

近年、多くの園芸家がますます環境問題を意識するようになってきた。彼らはほかの

地域から持ち込まれた植物ではなく、在来植物を自分たちの庭で栽培することを選択している。在来植物は一般に非在来植物より水を少量しか必要としないので、より環境に優しいと見なされている。それらはまた別の恵みをもたらす。つまり、在来植物はより多くの鳥やチョウを引き寄せるし、病気や害虫に対する抵抗力があるということで、管理がより容易である。

しかしながら、多くの園芸家は在来の植物が最良の選択であると信じ込んでいるわけではない。彼らは地元の種苗販売店で売られている美しい多種多様な非在来植物の中から選んでも構わないと思っている。園芸コラムニストのバート・ジークラーは、たいいていの非在来植物が「数百年とは言わないまでも、数十年もの間、自宅所有者や造園家によって何の問題も起こさずに楽しまれてきた」と指摘している。彼はまた、植物の育種家は在来の植物の望ましい特徴を保持する魅力的な新品種を作り出すために、長い間非在来種を在来種と異種交配させてきたと指摘している。

興味深いことに、自分の花壇に在来植物だけを植えることにこだわる米国の多くの園芸家は、彼らが自分の菜園のためにする選択の矛盾に気付かない。これらの園芸家の中で、自分の果物と野菜を在来種だけに限定しようとする者はほとんどいないだろう。もしそのようなことをすれば、彼らはキャベツやカリフラワーのようなヨーロッパ原産の植物を栽培できなくなるだろう。南米原産のトマトとジャガイモも駄目だということになる。こういった理由で、自分の庭で在来種を栽培するのは確かに道理にかなうことなのだが、完全に非在来種を避けることは論外なのである。

【語句】 native 「(動植物が) その土地固有の, 在来の」, ecologically friendly 「環境に優しい」, nonnative 「(動植物が) 非在来の」, resistance 「抵抗力」, see no harm in *doing* 「～しても差し支えないと思う」, nursery 「種苗販売店」, landscaper 「造園家」, crossbreed 「異種交配させる」, contradiction 「矛盾」, vegetable plot 「菜園」

(29) - 解答 3

【解説】 空所を含む文に続く第2文で園芸家の多くが非在来の植物ではなく在来の植物を育てる選択をしていること、さらに第3文で非在来の植物より在来の植物のほうが環境に優しいと述べられていることから、彼らの行動は環境に配慮したものであり、環境問題に対する「高まる意識」(a growing awareness over) を示していることになる。ほかの選択肢では環境問題に対して否定的であることになる。

(30) - 解答 1

【解説】 空所の直前に逆接を表す副詞 *however* があるので、第1段落で述べた内容(多くの園芸家が環境に配慮して在来植物を選択している)とは逆の内容が来ることになる。続く部分で実際に非在来植物を選ぶ園芸家もいること、さらに非在来種の栽培や在来種との交配には長い歴史があることが述べられているので、彼らの多くは在来種が最良の選択だと「信じ込んでいるわけではない」(remain unconvinced) ことになる。

(31) - 解答 2

【解説】 空所を含むこの文は、この段落の「まとめの文 (concluding sentence)」となっており、その前までに述べてきた内容(花などに関して在来種のみに固執しても野菜や果物に関して非在来種を排除しようとする人はいなかった)を受けて「非在来種を完全に避けることは論外だ」と結論付けている。従って *For this reason* 「こういった理由で」が入る。

【2011 年第 3 回】

全文訳 サバンナの支配者

サバンナとして知られるアフリカの草原は、ライオンやゾウ、キリンなどの多くの堂々たる生き物を支えている。こうした大柄な動物たちが、サバンナの生態系で最も重要な役割を果たしていると普通は考えられる。しかし、近年の研究から、動物の大きさが必ずしも生態環境への影響を示すわけではないことが示唆されている。ハーバード大学とフロリダ大学の科学者たちは、実際に最も影響力を持っているのは、アリによく似た昆虫のシロアリであるということを示す強力な証拠を発見した。

科学者たちは、ケニア中央部のサバンナでトカゲの個体群の分布を研究していた際に、このことに気付くようになった。彼らはシロアリによって作られる巨大な巣であるシロアリ塚の近くに、異常なまでに多くの数のトカゲが生息していることに気付いた。さらに研究を進めると、ほかの多くの動植物たちもまた、シロアリ塚の近くに高度に密集していることが明らかになった。科学者たちによれば、シロアリが朽ちた木や植物を栄養素に変えるために、土壌が肥沃になるのだと言う。また、シロアリの活動によって土壌がやわらかくなり、水分を吸収する働きがより増すのだ。こうしたことにより、野生動物や植物が繁殖するのに、とりわけ適した環境が作られるのだ。

科学者たちを最も驚かせたのが、シロアリがサバンナの環境全般に与える影響力だった。衛星写真から、シロアリ塚がチェス盤のマス目のように、草原中の至るところで均等に広がっていることが分かる。こうした配置によって、生態系は可能な限り最大限の生産性を手にしているのだと、科学者たちは考えている。この発見は、サンゴ礁のように環境が悪化した生態系を回復させている自然保護論者たちにとって、とりわけ重要かもしれない。似たような方法で配置されたサンゴが、そのような生態系で同じように生産性の向上をもたらすかもしれないのだ。

【語句】 magnificent 「堂々とした」、ecosystem 「生態系」、termite 「シロアリ」、mound 「塚」、vegetation 「植物」、nutrient 「栄養素」、conservationist 「自然保護論者」、degrade 「質を低下させる」

(26) - 解答 2

【解説】 第1段落の冒頭で、動物の大きさが生態系に与える影響の大きさを決めるという一般論を紹介した後で、though という接続詞を挟んで空所につながっている。従って、空所にはこの一般論とは異なる見解が入ると予想され、その観点から選択肢を吟味すると、2 の「必ずしも示唆するわけではない」が正解だと分かるはずだ。

(27) - 解答 4

【解説】 空所の直前にある also が決め手となる。1つ前の文で、シロアリ塚の近くにトカゲが密集して生息している事実が述べられており、それを受けて「ほかの動植物もまた」と続いているわけだから、当然「密集して

いる」という趣旨の表現が入ると考えるのが自然。よって、正解は 4 の「最大限に密集している」である。

(28) - 解答 ①

解説

similar や as well などの表現から、シロアリ塚の成功事例をサンゴ礁に当てはめる可能性を考えている点に気付くことが大切。直前で、シロアリ塚がチェス盤のマス目のように並ぶことで最大限の生産性を引き出していることを紹介したうえで、サンゴ礁にも同様の可能性を期待しているわけである。従って、「生産性を高める」という内容の 1 が正解となる。

全文訳 塩分と健康

アメリカ医学界は、過剰な塩分の摂取は心臓病の危険性を高めると、絶えず主張してきた。医学界は何年にもわたって、アメリカ人に対して塩分摂取量を控えるように説得を試みてきた。そして、2010 年 4 月、主要な健康政策研究機関が、製造業者が食品に含めることができる塩分量を制限する厳格な規定を制定するように要求した。しかし、反対の立場を取る人たちは、この対応はあまりに度を越しているのではないかと主張する。

近年、ベルギーの研究者のチームが、8 年の期間にわたって 3,681 人もの人々を追跡調査したある研究結果を公表した。彼らは、塩分摂取量が最も少なかった人々が実際には心臓病で亡くなっている傾向にあり、逆に最も多く塩分を摂取した人々のグループが心臓病関連の死亡が最も少なかったということを発見した。同様に、ニューヨークにあるアルバート・アインシュタイン医科大学の科学者たちは、低塩分の食事を摂っている患者の方が、心臓病で亡くなる危険性がより高かったという事実を発見した。ベルギーの研究者たちは、健康な被験者のみが集められたという、自分たちの研究の弱点を認め、高血圧の人々は塩分摂取量を減らすべきだということには同意している。しかし彼らは、健康な人々においては、高い塩分摂取量と心臓病にかかる危険性の上昇の間には、何の関連もないということを自分たちの発見は示していると主張する。

この問題は、今なお論議が続いている。アメリカ医学界は自身の見解を維持しているが、先述の研究は同意を得られるまでには至っていない。科学者たちにとって唯一確実に分かっていることは、塩分は各々の人に対して別々の方法で影響を及ぼすという点だけである。問題は、健康への危険性が全人口のうちわずかな部分にしか及ばないのであれば、全てのアメリカ人が塩分摂取量を減らすべきなのかどうかということである。

【語句】 intake 「摂取」、recruit 「募集する」、consumption 「消費」、consensus 「一致、合意」

(29) - 解答 ②

解説

後に続く第 1 段落第 2 文で「何年にもわたって国民への説得を試みてきた」と述べられているので、学界としては危険性をすでに認識していて、これまでに警告を発していたと考えられる。その観点で選択肢を見ると、

空所に最も適するのは2の「絶えず主張してきた」だと判断できる。

(30) - 解答 ①

解説 第2段落では、塩分の摂り過ぎが必ずしも心臓病発症の確率を高めるわけではないという論を展開しており、その趣旨に従って、空所の前後で異なる2つの研究チームの事例が紹介されている。つまり、ここでは同じ趣旨の具体例が並列されていると考えられ、空所には1の「同様に」が入る。

(31) - 解答 ①

解説 第3段落第2文で「同意が得られていない」とあり、さらに最後の文でも「～かどうかという問題がある」とまとめられていることから、現段階では明快な結論が得られていない状況がうかがえる。よって、1の「今なお議論が続いている」が正解。

【2012年第1回】

全文訳 偉大なるアメリカバイソンについての論争

毎年冬、通常彼らが餌として食べる牧草を深い雪が覆い尽くすころ、イエローストーン国立公園内に生息するバイソンは、草を食べるために公園の境界を越えてさまよい歩

く。彼らがそうするとき、彼らは殺される危険を冒している。多くの人にとって、バイソンはアメリカ西部を象徴する存在だが、バイソンは畜牛に害を与える病気であるブルセラ病を感染させる動物として知られている。1985年以来、米国国立公園局は彼らが公有地や私有地で草を食べている畜牛を感染させることを恐れて、イエローストーン国立公園の境界外でおおよそ4,000頭のバイソンを捕殺してきた。

2011年の春、州並びに連邦政府機関は、自然保護論者たちの圧力もあって、イエローストーン国立公園内のバイソンを、公園北部の公有地であるモンタナ州のガーディナー盆地へと冬の期間に移動させるという合意書に署名した。40年間で初めて、バイソンがイエローストーン国立公園の外側で草を食べることが許されたのだ。しかし、モンタナ州の畜牛の牧場経営者グループが、裁判で異議を唱えており、バイソンが畜牛にブルセラ病を感染させる可能性に加えて、バイソンは一般の人々にとっても脅威だと主張している。牧場経営者たちは、その巨大な動物は、公園から出ることを許されると、物的損害を与えたり、人々を傷つけることさえあるかもしれないと述べている。

自然保護論者たちは、安全対策が大切だという意見に同意している。しかし、彼らはまた、牧場経営者たちが反対するのには別の理由があるのではないかと疑っている。畜牛もまたガーディナー盆地の草を餌として食べるので、バイソンは畜牛と餌を争うことになる。裁判官は先ごろ牧場経営者側を支持して、米国国立公園局に今一度バイソンをイエローストーン国立公園内で飼うようにとの命令を下した。バイソンと牧場経営者と

いうアメリカ西部の2つの象徴が、生存のための戦いの中でお互いに向き合った状態で、論争はなおも続いている。

【語句】 bison「バイソン、ヤギウウ」、boundary「境界（線）」、graze「牧草を食う」、brucellosis「ブルセラ病」、conservationist「自然保護論者」、rancher「牧場経営者」、icon「像、象徴」

(26) - 解答 3

【解説】 空所の後に、バイソンは畜牛にブルセラ病を広める恐れがあるために、米国国立公園局が公園境界を超えて外に出たバイソンを補殺してきたと書かれている。つまり、バイソンにとっては公園境界を越えた途端に、補殺される危険にさらされると考えられるので、正解は3の「殺される危険を冒す」である。

(27) - 解答 1

【解説】 第2段落では越冬のためバイソンを公園から別の地に移すことが話題となっている。そこで牛を飼う牧場経営者たちが恐れているのは、バイソンによる物的・人的損害であり、そうした状況になり得るのはバイソンが公式に「公園から出ることが許される」ときなので、1が正解となる。

(28) - 解答 4

【解説】 第2段落を受けて、自然保護論者は牧場経営者が主張する安全管理面の問題には同意する一方、疑わしい面もあると述べたうえで、空所を挟んで餌の取り合いという別の観点からの指摘がなされている。つまり、反

対するのには「別の理由がある」と考えられるので、4が正解と分かる。

全文訳 死者の日

1300年代中ごろから1500年代初頭まで中央メキシコを支配したアステカ人は、死者の魂が帰ってくるのを歓迎する祭りを開いていた。彼らは死者の魂が毎年1カ月間戻ってくると信じていたのだ。この伝統は16世紀にスペイン人がアステカの地を征服した後もどうにか伝承されていた。スペイン人がメキシコにもたらしたカトリシズムでは、天国に昇った人や死者の魂は11月の初めに2日間敬われる。こうした慣習がアステカ人の信仰と混ざり合い、今日ではディア・デ・ロス・ムエルトス、つまり死者の日として知られるメキシコ人の祝日になった。

ほかの国のカトリック教徒にとって、11月の祝日は深い悲しみと省察によって祝われる。メキシコでは、死者の日は喜んでお祝いする時間である。人々は死者に対して、食べ物や飲み物、そのほかの品をお供え物として祭壇に積み上げる。墓地では、来賓としての死者と共にするピクニックが開かれる。町の広場では、死者が密集しているカーニバルのような世界に置かれた滑稽な骸骨の彫刻が目立っていて、物売りは砂糖でできた念入りに装飾されている頭蓋骨を売っている。

しかし近年、外部からの影響がますます強くなってきている。都市に住む多くの子供たちはもはや死者とのお祭り騒ぎでは家族と一緒に過ごさず、その代わりにキャンディーを求めて通りを歩き回るのだ。それは、アメリカのハロウィーンの「お菓子をくれな

きやいたずらするよ」の風習から借用したしきたりである。出来合いのハロウィーン装飾は、メキシコの家庭や店頭でも見ることができる。メキシコ人小説家のホメロ・アリディスはこのことを「文化汚染」と見なし、「死者を敬うためのパンや花を買うお金を取っておくように」と述べ、彼はそのことを熱心にメキシコ人に勧めている。

【語句】 Aztec「アステカ人(の)」, saint「天国に昇った人」, mark「祝う」, cemetery「墓地」, merrymaking「お祭り騒ぎ」, roam「歩き回る」

(29) - 解答 3

【解説】 空所の直後を読むと、スペイン人によるアステカ征服によって両者の宗教的慣習や信仰などが混ざり合い、現在のメキシコの祝日につながっていると書かれている。つまり、スペインによる征服後もアステカ人の慣わしは根強く残っていると考えられ、3の「どうにか伝承されていた」が正解と分かる。

(30) - 解答 4

【解説】 第2段落では、一般的なカトリック教国とは対照的なメキシコでの祝日の様子が説明されている。空所の後では、ピクニックやカーニバルなど華やかなメキシコの祝日の様子が記されており、この段落の冒頭に書かれているような悲嘆と省察に暮れるほかのカトリック教国の祝日とは明らかに異なっている。つまり、メキシコでは死者をにぎやかに迎えることが読み取れ、空所には「喜んでお祝いする時間」を意味する4が入る。

(31) - 解答 3

【解説】 空所の後ろに、メキシコの伝統に従わず、アメリカから流入したハロウィーンの風習にならって振る舞う今のメキシコの子供たちの様子が書かれている。つまり、メキシコの伝統が異国文化の流入で薄れつつある現状を「文化汚染」と見なしているのが、近年強まっているものは3の「外部からの影響」と判断できる。

【2012年第2回】

【全文訳】 アメリカにおける仕事と性

1970年代に多くのアメリカ人女性が労働人口に加わり始めたころ、労働の平等性に関する闘争が始まった。既婚女性たちは、賃金労働に加えてほとんどの家事も担当していたので、自分たちは夫よりも多くの時間を働いて過ごしていると感じていた。1989年に出版された社会学者アーリー・ラッセル・ホックシールドのベストセラー『第2の勤務』は、この考えを立証するものだった。彼女の研究は、女性は平均して週当たり合計15時間以上も男性より多く働いていることを示した。しかしその数字は1960年代と1970年代に集められたデータに基づくものであった。今や、その様相は変化している。

2010年の労働統計局の研究結果は、夫と妻は全体としてほぼ同様の仕事量を分担し

ていることを示している。平均して男性はまだ女性ほど家事をしていないが、彼らは家庭外でより多く働いている。また、男性が家事に費やす時間は過去 30 年間に着実に増加してきている。その結果、男性と女性の週当たりの平均合計仕事量の時間差はわずか 80 分であり、かつてないほど小さなものとなっている。

多くの人々は、1970 年代の社会変化により夫と妻が同量の賃金労働と家事を分担するようになることを望んだ。差は縮まりつつあるものの、そのようなバランスが取れるまでには至っていない。さらに、女性の常勤労働者の平均賃金は、男性の常勤労働者の 81% に過ぎない。そのような女性たちにとっては、自分たちの仕事が男性の仕事よりも低く評価されている限り、平等ということはある得ない。

【語句】 gender 「(社会的・文化的) 性」, workforce 「労働人口」, equality 「平等」, chore 「家事」, sociologist 「社会学者」, statistics 「統計」, workload 「仕事量」, amount to 「～(という量・額)に達する」

(26) - 解答 4

【解説】 この社会学者の著書がどのような役割を果たしたのかを考えればよいが、1 つ前の文で、就労した女性たちが家事を含めた自分たちの労働時間が男性よりも長いと感じていたとあり、後の文では、その学者の研究により実際に女性の労働時間が男性よりも長いことが示されたとある。つまり、その著書は女性たちの思いが正しいことを証明したわけなので、4 の「この考えを立証した」が正解となる。

(27) - 解答 1

【解説】 空所を含むこのパラグラフの第 1 文はいわゆるトピックセンテンスになっており、パラグラフ全体の内容を 1 文で要約している。パラグラフの後続の文、特に最後の文を読めば、現在では男性と女性が「全体としてほぼ同様の仕事量を分担している」ことが分かる。1 が正解。

(28) - 解答 2

【解説】 1 つ前の文で、同じ常勤労働者であっても、女性の平均賃金はいまだに男性の平均賃金よりも低いことが述べられている。つまり、働く女性からすれば、自分たちの仕事が「男性の仕事よりも低く評価されている」わけで、そのような状態が続く限り平等には程遠いことになる。2 が正解。

Ⅰ 全文訳 E セラピー

ジークムント・フロイトが精神疾患の治療法としての精神分析を開発して以来ずっと、心理療法には患者とセラピストの間の対面でのやりとりが付きものであった。メンタルヘルス上の問題への理解が深まるにつれて、セラピストたちはフロイトの考えに改変を加えていったが、患者とのほとんど全ての議論や彼らの問題の分析は、なおもセラピストの診療室内で行われてきた。

インターネットがますます利用しやすくなるとともに、「E セラピー」として知られる新しい種類のメンタルヘルスカウンセリングが出現してきた。E セラピーにおいて、

患者とセラピストは遠隔地から連絡を取り合うために E メールやインスタント・メッセージのようなネット上の連絡手段を使う。多くの人々は、このことが従来のカウンセリングよりもよい結果をもたらしていると言っている。1 つには、ネット上での診療はほとんどどこでも、また多くの場合診療室内での診療よりも安価に行うことができるので、患者はより定期的にカウンセリングを受ける傾向がある。さらに、E セラピーにおける人間関係の匿名性が、患者がより自由に話すことに役立ち、より深い議論を可能にするようである。

E セラピーには幾つかの欠点もある。1 つの懸念は、ネット上のカウンセラーが免許のあるセラピストなのかどうか判断するのが難しいということである。セラピストの資格が正当なものである場合でも、ネット上での治療は新たな課題をもたらす。セラピストは従来、患者の反応が正直なものであることを確認するために、表情や声の調子などの視覚的、聴覚的な手掛かりを頼りにしている。E メールによるもののよう、ネット上でのカウンセリングの幾つかの形態においては、このような手掛かりを見つけることは不可能である。従って、E セラピーのセラピストたちは患者を理解するためにほかの方法を使わなければならない。こういった問題はあるものの、E セラピーは将来的にメンタルヘルスケアの重要な構成要素となるように思われる。

【語句】 psychoanalysis「精神分析」、therapist「セラピスト、治療士」、adaptation「改変」、anonymous「匿名の」、drawback「欠点」、qualification「資格」、legitimate「正当な」、auditory「聴覚の」、facial expression「表情」

(29) - 解答 3

【解説】 後続の文の後半部分を読むと、心理療法では現在に至るまで、診療室内でセラピストと患者が問題について話し合い、それに基づいて分析を行うという手法が用いられていることが分かる。つまり、心理療法にはその誕生時から、患者とセラピストの間での「対面でのやりとり」が付きものであったことになり、3 が正解と分かる。

(30) - 解答 1

【解説】 空所の直前の文で「E セラピー」が好結果をもたらすと述べており、直後で手軽さから患者が定期的にカウンセリングを受けるようになるという好結果の 1 つの具体例を述べている。従って空所には、論拠を 1 つ挙げるときに使う表現、for one thing「1 つには」が入る。さらにその後の文が、what is more「さらに」で始まり、もう 1 つの論拠を述べていることもヒントになる。

(31) - 解答 2

【解説】 空所の文の 2 つ前の文で、患者の反応が正直なものであることを確認するのに、従来、視聴覚的な手掛かりを頼りにしていると述べ、直前の文ではネット上のカウンセリングではそういった手掛かりが使えないと述べている。従ってセラピストはほかの方法を使わざるを得ないわけだが、

その目的は「患者の反応が正直なものであることを確認する」に最も意味の近い **2** の、患者を「理解する」ことである。